2024.12.04 | NOTÍCIAS, 音楽 | BCSPC編集部 |
アイルト・モレイラ, エドナルド＆アメリーニャ, カエターノ・ヴェローゾ, ジルベルト・ジル, スティング, デリア・フィッシャー, トニーニョ・オルタ, トム・ジョビン, バセラール, ファギネル, フラヴィオ・ヴェントゥリーニ, フローラ・プリン, ホベルト・メネスカル, マリーザ・モンチ, モレレンバウム, レイラ・ピニェイロ, 坂本龍一

ジャキス・モレレンバウムとヒカルド・バセラール　アルバム『Aracati （アラカチ)』をリリース

Fogueira - Ricardo Bacelar e...
FOGUEIRA
Ricardo Bacelar & Jaques Morelenbaum

Contents [show]

ジャキス・モレレンバウムとヒカルド・バセラール、作曲者でアレンジャーでもあるミュージシャン
二人が書き下ろした新曲を含む楽曲をセアラ州沿岸の町でレコーディングしたアルバム『Aracati （アラカチ)』をリリース

ARACATI
RICARDO BACELAR AND JAQUES MORELENBAUM
JASMIN MUSIC

作曲家でアレンジャーのチェリスト、ジャキス・モレレンバウム（ Jaques Morelenbaum ）とマルチプレイヤーで作曲家、プロデューサーのヒカルド・バセラール（Ricardo Bacelar）の共作アルバム「アラカチ（Aracati)」が、11月29日に配信スタートとなる。

今回の作品制作の舞台となったセアラ州沿岸部にある美しい町アラカチは、構想から収録まで15日間かけて作られたアルバムのインスピレーションの源にもなった。

レコーディングは、絶え間なく吹く風が砂丘に風紋を描き、波の音がリズムを刻むアラカチの海辺の景色に没入する体験となった。

その間モレレンバウムのホスト役を務めたパセラールは、「滞在した家の一室にミニスタジオを設け、私は電子ピアノを、ジャキスはチェロを持ち込んで、あの環境の中に没入した。

砂丘や海、アラカチの美しい自然と触れ合いながら1週間過ごした。

その間我々はよく語り合い、演奏し、すべてがアルバム制作のインスピレーションとなった」と振り返る。

翌週二人は活動の場をフォルタレーザのジャスミン・スタジオに移し、レコーディングに入った。

「アラカチ（Aracati）」は、Spotify、Apple Music、Tidal、Deezer、Amazon Music、SoundCloud 等のプラットフォームで(https://ffm.to/jasmin_aracati)配信されるほか、日本国内の一部店舗でもCDフォーマットで販売予定。

ジャキス・モレレンバウムにとって、セアラ州の海辺での滞在は魅惑的な時間だったという。

「アラカチ滞在中に生まれた楽曲は全て、そこで起きたことと結びついている。例えば『フォゲイラ（Fogueira)』に関して言えば、この曲がバイアオンだということもあり、曲の着想にエグベルト・ジスモンチの存在を感じた。ビーチで行われたイベントで大きな火が灯された時、ヒカルドと私の頭の中にはこの曲が聞こえていた」。同曲はミュージックビデオも制作され、アルバムが配信開始となる11月29日にリリースされる予定。

かつてセアラ州の首都が置かれていたアラカチは、同州の経済の中心地でもあった。

海辺に堂々とそびえ立つ赤い断崖の美しさは今も保たれており、海藻から魚、砂も含め環境の全てがこのアルバムを構成する音楽の質感を構成する重要な要素となっている。

アラカチで生まれた二人の共作に加え、アルバムには唯一のボーカル入りの曲「クアンド・ア・ノイチ・ヴェン（Quando a Noite Vem)」（ヒカルド・パセラール／ジュリアーノ・エリストン作）や、「ファレジアス（Falésias)」（ヒカルド・パセラール／ルシアーノ・ハウリーノ）などの新曲のほか、パセラールとモレレンバウムがそれぞれが過去に作曲した未発表曲も収録された。

それについてパセラールは、「重要なのは、既存の曲も含めて今回アルバムに収録された曲は、すべてアラカチの町を背景としていることだ」と

ジャキス・モレレンバウムにとって、セアラ州の海辺での滞在は魅惑的な時間だったという。

「アラカチ滞在中に生まれた楽曲は全て、そこで起きたことと結びついている。例えば『フォゲイラ（Fogueira)』に関して言えば、この曲がバイアオンだということもあり、曲の着想にエグベルト・ジスモンチの存在を感じた。ビーチで行われたイベントで大きな火が灯された時、ヒカルドと私の頭の中にはこの曲が聞こえていた」。同曲はミュージックビデオも制作され、アルバムが配信開始となる11月29日にリリースされる予定。

かつてセアラ州の首都が置かれていたアラカチは、同州の経済の中心地でもあった。

海辺に堂々とそびえ立つ赤い断崖の美しさは今も保たれており、海藻から魚、砂も含め環境の全てがこのアルバムを構成する音楽の質感を構成する重要な要素となっている。

アラカチで生まれた二人の共作に加え、アルバムには唯一のボーカル入りの曲「クアンド・ア・ノイチ・ヴェン（Quando a Noite Vem)」（ヒカルド・パセラール／ジュリアーノ・エリストン作）や、「ファレジアス（Falésias)」（ヒカルド・パセラール／ルシアーノ・ハウリーノ）などの新曲のほか、パセラールとモレレンバウムがそれぞれが過去に作曲した未発表曲も収録された。

それについてパセラールは、「重要なのは、既存の曲も含めて今回アルバムに収録された曲は、すべてアラカチの町を背景としていることだ」と

ジャキス・モレレンバウムにとって、セアラ州の海辺での滞在は魅惑的な時間だったという。

「アラカチ滞在中に生まれた楽曲は全て、そこで起きたことと結びついている。例えば『フォゲイラ（Fogueira)』に関して言えば、この曲がバイアオンだということもあり、曲の着想にエグベルト・ジスモンチの存在を感じた。ビーチで行われたイベントで大きな火が灯された時、ヒカルドと私の頭の中にはこの曲が聞こえていた」。同曲はミュージックビデオも制作され、アルバムが配信開始となる11月29日にリリースされる予定。

かつてセアラ州の首都が置かれていたアラカチは、同州の経済の中心地でもあった。

海辺に堂々とそびえ立つ赤い断崖の美しさは今も保たれており、海藻から魚、砂も含め環境の全てがこのアルバムを構成する音楽の質感を構成する重要な要素となっている。

アラカチで生まれた二人の共作に加え、アルバムには唯一のボーカル入りの曲「クアンド・ア・ノイチ・ヴェン（Quando a Noite Vem）」（ヒカルド・バセラール／ジュリアーノ・エリストン作）や、「ファレジアス（Falésias）」（ヒカルド・バセラール／ルシアーノ・ハウリーノ）などの新曲のほか、バセラールとモレレンバウムがそれぞれが過去に作曲した未発表曲も収録された。

それについてバセラールは、「重要なのは、既存の曲も含めて今回アルバムに収録された曲は、すべてアラカチの町を背景としていることだ」と

＜アルバム『Aracati（アラカチ）』収録曲＞

ARACATI
RICARDO BACELAR AND JAQUES MORELENBAUM
ARACATI
JASMIN MUSIC

Correios

Ricardo Bacelar – Keyboards, accordion and percussion

Jaques Morelenbaum – Cello and acoustic piano

Hoto Júnior – Percussion

Fogueira

To Egberto Gismonti

Ricardo Bacelar – Acoustic piano and keyboards

Jaques Morelenbaum – Cello

Hoto Júnior – Percussion

Quando a Noite Vem

Quando a noite vem
Lembro de nós
Os abraços, a luz, meia-luz
Nossos pés, cruzados feito trama
Se você também
Quer relembrar
Pode vir, ou dizer onde está
Que eu vou, minha vontade é tanta
Um desejo tão real, uma chama
Que nem finjo que é banal, desanda
Ele aflora, tão contido
Mas explode, quando estamos sós

Ricardo Bacelar – Voice and acoustic piano

Jaques Morelenbaum – Cello

Hoto Júnior – Percussion

FI_RU_HAY_KAY

Ricardo Bacelar – Keyboards and percussion

Jaques Morelenbaum – Cello, keyboards and acoustic piano

Hoto Júnior – Percussion

Caminhos de Areia

Ricardo Bacelar – Acoustic piano and keyboards

Jaques Morelenbaum – Cello

Hoto Júnior – Percussion

Milagres

Ricardo Bacelar – Acoustic piano, claps

Jaques Morelenbaum – Cello, claps and percussion

Hoto Júnior – Percussion and claps

Sargaço

Ricardo Bacelar – Acoustic piano, keyboards, Hammond organ,

Jaques Morelenbaum – Cello

Hoto Júnior – Percussion

Voo da Graúna

Ricardo Bacelar – Acoustic piano and keyboards

Jaques Morelenbaum – Cello

Hoto Júnior – Percussion

Falésias

Ricardo Bacelar – Acoustic piano and keyboards

Jaques Morelenbaum – Cello

Hoto Júnior – Percussion

Ar Livre

Ricardo Bacelar – Acoustic piano

Jaques Morelenbaum – Cello

Luiz Orssano – Drums

BRASIL com .com

"S"の付いたブラジル情報を紹介するポータルサイト

BCSPC編集部

‹ Netflix『セナ』に寄せて ー その後のブラジル人ドライバーたちの軌跡 ー

KOTO BRASIL-日本の伝統楽器とブラジル音楽の邂逅(かいこう)- ›

OZmallアワード
OZのプレミアム予約 年間ランキングを発表

オススメの記事

BRAZILIAN DAY JAPAN
GUNMA 2024
ブラジリアンデージャパン
群馬2024
6月15日 土 Sáb 16日 日 Dom

BRAZILIAN DAY JAPAN GUNMA 2024 (ブラジリアンデージャパン群馬2024)

AMBA
つり 2024 & BOSSA BRASIL
6 E 7 DE JULHO
OCAL: ZIVA HAMAMATSU

サンバまつり2024 & ボッサ ブラジル Samba Fest 2024 & Bossa Brasil

HONEYMOON IN RIO
Authentic Brazilian Sambas and Baions

憧れのブラジル航路　第2回

「ブラジルフェスティバル2023」イベントレポート

映画『エリス＆トム』を視聴して

「イペー映画祭」ブラジル・アニメーション

BRASIL comS.com

"S"の付いたブラジル情報を紹介するポータルサイト

Copyright © 2024 brasilcoms.com